

No.468

たてやま さんせい う
立山の酸性雨

酸性雨は平野だけでなく、立山にも降っています。図1は室堂平(標高2450m)での酸性雨観測の様子です。図2は室堂平、弥陀ヶ原(標高1930m)、美女平(標高970m)、平野部(科学博物館屋上)でのpH(酸性度)の推移を月別に示したものです。横軸が西暦、縦軸が雨のpH(酸性度)で、pH5.6よりも値が小さい場合が酸性雨です。

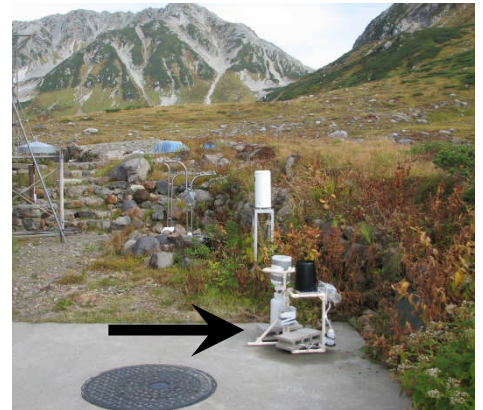


図1 室堂平の立山センター敷地に設置させてもらった酸性雨観測器

グラフを見ると、ほとんど全てが酸性雨でした。また、標高によるpHの違いは少なく、どの地点も似たような変化を示しました。8月と9月のpHの値は2004年頃一時低下したあと、少しずつ高くなり、酸性雨が弱まる傾向が見られました。変わったところでは、7月のグラフの2011年と9月のグラフの2014年の部分で、室堂平(◆)と弥陀ヶ原(■)のpHの値が高くなっています(○で囲った部分)。これは室堂平から弥陀ヶ原にかけて黄砂が通過し、黄砂によって酸性雨が弱められたためと考えられます。

(観測は国立公園内で行うため、関係する機関の許可を受けて行っています。)(朴木英治)

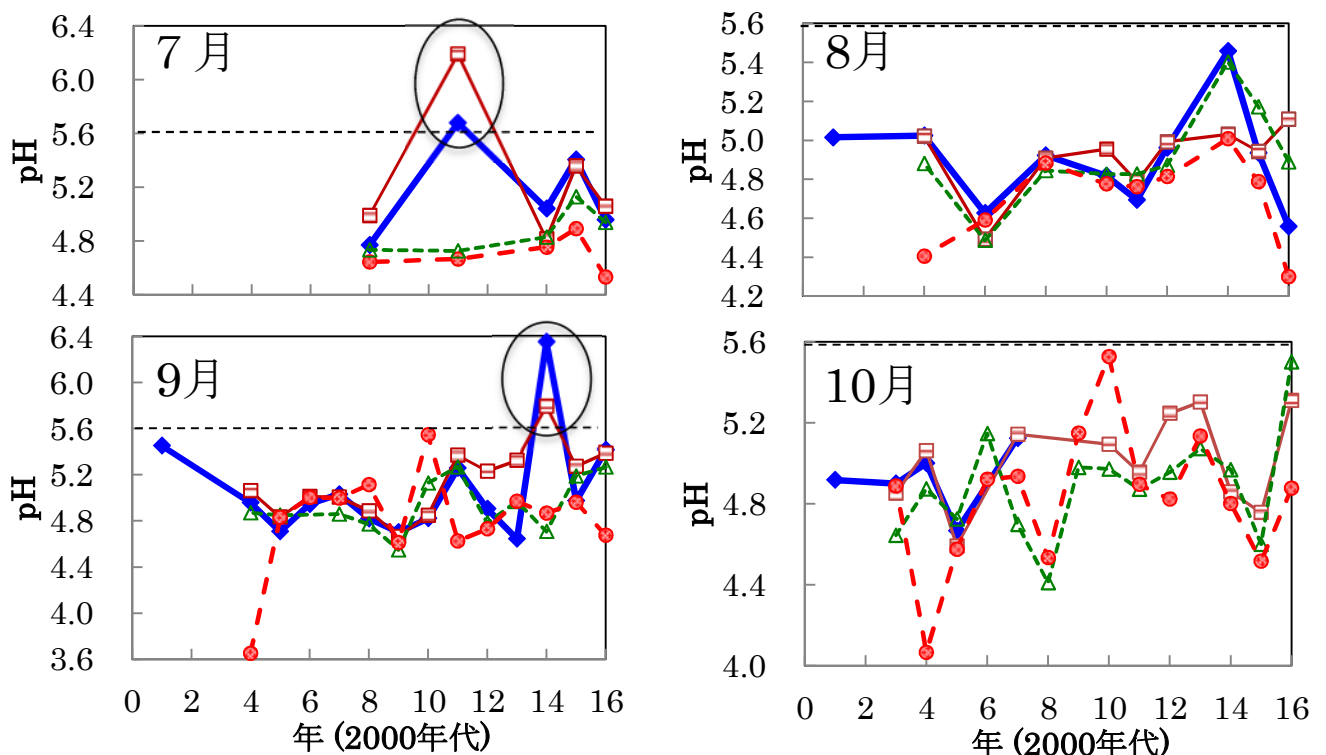


図2 立山での酸性雨観測結果

室堂平 ◆ — 弥陀ヶ原 ■ — 美女平 △ - - - 平野部 ⊗ - -